

田植時の除草体系

今年の育苗期間は寒暖差が大きく、温度管理に苦慮されたことと存じます。移植後は気温も高く推移し、雑草の発生が懸念されますので以下を参考に対策を講じてください。

1. [ホタルイ]の除草剤体系

第1案 代かき後～移植前7日

(4成分)

メテオフロアブル
サインヨシフロアブル

移植後3日～ アップレZフロアブル
移植後5日～ ウルティモZフロアブル

第2案 (6成分) 移植直後～

ショキニーフロアブル

移植後14日～

レプラス1キロ粒剤

2. [オモダカ]の除草剤体系

第1案 (4成分) 移植直後～

ユニハーブフロアブル

移植後5日～カウンスルコンプリートフロアブル
移植直後～ プライオリティ豆つぶ250

第2案 (5成分)

移植後5日～ ウルティモZフロアブル
移植直後～ カウントダウンフロアブル

移植後15日～

ワイドショット1キロ粒剤

3. [コナギ]の除草剤体系

(5成分)

移植後5日～ ウルティモZフロアブル
移植後3日～ カイリキZフロアブル

移植後15日～

ワイドショット1キロ粒剤

4. [クログワイ]の除草剤体系

移植後3日～

(7成分) カイリキZフロアブル

移植後14日～

レプラス1キロ粒剤

5. [イボクサ]の除草体系

移植後3日～

(5成分) カイリキZフロアブル

移植後15日～

ワイドショット1キロ粒剤

6. [マツバイ]の除草剤体系

移植直後～

第1案 (5成分) カウントダウンフロアブル

移植後15日～

ワイドショット1キロ粒剤

第2案 (1成分) ・ ・ 稲刈り直後

クロレートS粒剤

※ 表層剥離等での除草剤の拡散抑制による効果低下が懸念される場合

代かき後～移植前7日

クリアホープフロアブル

移植後～

各種初中期一発剤

区分	薬剤名	成分名及び含有量 (%)			成分数
初期剤	メテオフロアブル	ペントキサゾン 5.0			1
	サインヨシフロアブル	ペントキサゾン 8.6			
	エリジャン乳剤	プレチラクロール 12.0			
	ユニハーブフロアブル	プレチラクロール 5.0	ベンゾフェナップ [®] 20.0		2
	クリアホープフロアブル	ペントキサゾン 4.0	ACN 18.0		
	テマカットフロアブル	ペントキサゾン 7.2	ダイムロン 28.0		
	ショキニーフロアブル	ペントキサゾン 4.0	プロモブチド 18.0		
初・中期一発剤	カウンシルコンプリートフロアブル	(注) トリアファモン 0.97	テフリルトリオン 5.8		2
	プライオリティ豆つぶ 250	(注) トリアファモン 2.0	フェンキトリオン 12.0		
	カイリキZフロアブル	プロピリスルフロン 1.75	テフリルトリオン 4.8	イプフェンカルハズン 4.8	3
	イネキングフロアブル	ピラクロニル 3.6	ピラゾレート 20.0	ベンゾビシクロン 4.0	
	ウルティモZフロアブル	プロピリスルフロン 1.65	ピラゾレート 11.0	シクロピリモレート 5.5	
	銀河フロアブル	メタゾスルフロン 2.0	ピラクロニル 4.0	ダイムロン 20.0	
	アッパレZフロアブル	プロピリスルフロン 1.7	ピラクロニル 3.7	プロモブチド [®] 16.8	
	カウントダウンフロアブル	(注) トリアファモン 0.95	フェンキトリオン 5.7	フェントラザミド [®] 5.7	
	コメットフロアブル	メタゾスルフロン 1.2	テフリルトリオン 4.0	ピラクロニル 4.0	
	デオーレ顆粒	オキサジクロメホン 5.0	テフリルトリオン 25.0	メタゾスルフロン 12.5	
中・後期剤	トドメ MF1 キロ粒剤	メタミホップ 1.35			1
	ワイドショット1 キロ粒剤	テフリルトリオン 3.0	ペノキススラム 0.5		2
	ウイドコア1 キロ粒剤	フルピラウキシ フェンベンジル 0.4	ペノキススラム 0.5	ベンゾビシクロン 2.0	3
	レブラス1 キロ粒剤	メタゾスルフロン 1.2	ジメタメリン 1.0	テフリルトリオン 3.0 ダイムロン 10.0	4

(注)：後作に玉ねぎの作付けを予定している圃場には薬害が懸念されるため「トリアファモン」の成分が含まれている薬剤の使用は避けてください。

・ハウス周辺等に除草剤を散布する際は、近隣ハウスへの飛散に十分注意してください。

「水稻技術情報」<https://www.ja-ogata.or.jp/farming2/>をホームページで閲覧の際は、これまで必要だったパスワード入力なしで閲覧可能になりました。

※水稻以外の技術情報は、これまで通りパスワードの入力が必要です。